

・昭和 25 年から親しまれた愛称 寝台特急「北陸」、 ・昭和 33 年か活躍の「ボンネット型」最後の定期列車 急行「能登」 上り最終列車乗車プラン

『寝台特急「北陸」、急行「能登」ファイナル！！』ツアー発売

(株)日本旅行(本社:東京都港区、社長:丸尾和明)は、本年3月のJRダイヤ改正により、定期運転を終了する寝台特急「北陸」および急行「能登」の最終運転日(3月12日発)に乗車するパッケージツアーを発売します。

設定プランは3月12日夕刻に大阪(新大阪・京都)を特急:サンダーバードで出発し、金沢から上野まで、「北陸」(B寝台)もしくは「能登」(普通席またはグリーン席)に乗車する2プラン。ツアー参加者には記念のオリジナルストラップ等オリジナルグッズもご用意しています。

寝台特急「北陸」について

1950年、上野から大阪まで上越線、北陸本線経由で運行する急行列車に「北陸」の愛称が与えられ運行開始。その後、上野～金沢間の列車となり、1975年3月、20系客車による寝台特急に格上げ。14系客車への変更を経て現在に至る。夜行列車全盛時代より、「走行距離が短いブルートレイン」として有名。近年、夜行列車の利用が低迷する中で健闘が伝えられていたが、利用者減少の波には勝てず、車両の老朽化もあいまって、2010年3月12日発を最後に廃止予定。



EF64+14 系客車北陸 イメージ

急行「能登」について

1975年3月、寝台特急「北陸」の誕生に伴い、これを補完する客車急行列車として上野～金沢間に誕生。経路も同じく上越線経由であった。その後、信越本線経由に変更。編成も当初は旧型客車であったがその後、寝台車・座席車混成の14系客車に変更。1993年に489系電車の座席夜行列車となり、「北陸」との差別化が図られた。1997年長野新幹線の開業に伴う信越本線の分断により、再び上越線経由に変更。その後現在まで「北陸」と同区間、同時間帯の運転を行ってきたが、2010年3月12日発をもって、「北陸」と共に廃止予定。昭和33年から活躍した今や貴重な最後の「ボンネット型車両」の定期運転が終了する。



489 系能登 イメージ

1. 商品名

『寝台特急「北陸」、急行「能登」ファイナル！！』

2. 設定プラン

大阪/新大阪/京都/金沢発上野着 寝台特急「北陸」乗車プラン（3/12～3/13、B寝台利用車中泊）
大阪/新大阪/京都/金沢発上野着 急行「能登」乗車プラン（3/12～3/13、車中泊）

- ・大阪/新大阪/京都発は金沢までサグ-バード 43号利用
 - ・「能登」乗車プランは普通車指定席利用とグリーン車利用プランがあります
 - ・各プランとも添乗員が同行します
 - ・最少催行人員：10名様（各プラン毎）
- 詳細は添付ホームページをご覧ください

3. 発売日

平成22年 1月29日（金） 15:00

4. 商品のポイント

3月12日発上り寝台特急「北陸」または急行「能登」最終列車の金沢 上野全区間に乗車！
ツアー参加者へのオリジナルグッズ（両プラン共通） 旅行代金に含まれます

- ・「記念乗車証（硬券）」付
- ・「さよなら北陸・能登記念ストラップ」付

5. 告知および販売方法

日本旅行ホームページに募集パンフレット掲載、以下の予約センター及び店舗のみにて受付。

「メディアトラベルセンター」大阪予約センター TEL 06-6347-1212

営業時間：平日 9:30～19:00、土・日・祝 9:30～18:00

その他、北陸・近畿・中国・四国地区および福岡県下の日本旅行、日旅サービス、日本旅行オムニトラベルの各店舗

日本旅行ホームページアドレス：

http://www.nta.co.jp/kansai/kokunai/pdf/jr_tour/hokuriku¬o.pdf

6. プラン一例

寝台特急「北陸」乗車プラン（大阪発）

行程

日程	コース	食事
3/12(金)	大阪駅 サグ-バード 43号 金沢駅 寝台特急「北陸」(B寝台) (車中泊) 18:42発 21:20着 22:18発	-
3/13(土)	上野駅・解散 6:19着	-

ご旅行代金：大人お一人様22,400円

7. 設定人数

寝台特急「北陸」乗車プラン 約40名

急行「能登」乗車プラン 約90名

以上